



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「不離一体・中小企業経営に役立つ同友会活動の実践」 ～同友会活動が企業を支え、地域を育てる～

中同協 第21回 女性経営者全国交流会 in 埼玉

日時：6月21・22日(木・金) 会場：大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮

第1分科会

経営者の自己変革、パートナーシップ

経営を支え、ともに生きるパートナーとして
～何を学び、行動し、自分・自社はどう変化したか～

(株)萬秀フルーツ 取締役 大崎 佳子 氏
愛知同友会

長崎浦上支部 金田 昭子

大崎さんは、フルーツ農園を経営するご主人と結婚されて妻としてだけ夫を支えていくのが使命と思っていたところ、メインのハウスみかんが病気にかかり経営の危機に直面、何か手伝いたいのには会社のことがわからない、ご主人を支える事ができない、自分もどこへ向かっているのかわからない、7年も苦悩が続きます。

そんな苦しい中でも、同友会会員であるご主人から経営のわからない大崎さんに難しい質問をとことん泣くまで投げかけてきます。普通の妻ならば逃げ出すところですが、大崎さんは自分も経営者の意識を持たなければと同友会に参加し始めます。色々な女性目線の経営努力が始まり、ついにフルーツジャムがコンクールで銀賞に輝きます。

努力が実ったと喜ぶ矢先に、5年をかけて育ててきたグレープフルーツが苗木屋さんの間違いで違った品種だとわかりました。これにはさすがに心が折れたそうです。それでもこの時期熊本の女全交に参加、分科



会で同友会の仲間から「大丈夫」の言葉に励まされて涙がこぼれたそうです。

それから萬秀フルーツは経営指針の見直しをされます。社員さんと共につくりあげられた「ちたフルーツビレッジ」。夢のあふれる楽しめる農園を目指した経営指針書は、見るだけで楽しくなる大きなビジョンでした。パートナーとして、経営者として会社を支えて行かれる大崎さんの変革の報告でした。

グループ討論ではパートナーとは？信頼とは？をテーマに話がつきませんでした。私はこの分科会で、同じ目的を一つに進むパートナーシップと車の車輪のように支え合うパートナーシャフト、とことん話し合い向き合っていくことが深い信頼を産み強い会社組織になると学びました。自社に役立てたいと思います。

目次

中同協 第21回 女性経営者全国交流会 in 埼玉 参加報告	1	諫早支部産学連携委員会 ウェスレヤン大学『就職活動スキル』参加報告	15
会員活躍	4	What is 共同求人?	15
各界からの提言	5	事務局企業訪問	16
6月例会報告	6	新入会員紹介	17
6月5・6日 中同協関連会議 参加報告	11	理事会報告	18
中同協 障害者問題委員会 参加報告	13	会員動向・会員数	19
第20回 中同協 青年部連絡会 in 静岡 参加報告	14	8月例会案内	20

2日目は埼玉同友会代表理事(株)メガネマーケットの久賀きよ江さんの記念講演でした。社員育成のノウハウ、自社の強みを生かした付加価値の付け方、すばらしい講演の後にコメンテーターとして立教大学名誉教授 山口義行氏、コーディネーターとして第一勧業信用組合理事長 新田信行氏という、豪華キャスト

のパネルディスカッションでマイクから聞こえる一言一言が全て心に残る学びとなりました。

5年間毎年女全交に参加していますが、年々グレードアップをしていると感じます。私もグレードアップできるように来年の広島にも是非参加しようと決めて帰ってきました。

長崎出島支部 萩田 実

今年度開催の「全研成功」に向け全国大会に何度か参加させていただいているが、改めて全国大会を開催する県の会員の皆様の団結を強く感じる。大宮駅ではランチをいただけるお店の紹介を、同友会の法被を着た数名の皆様にご紹介いただいた。メイン会場に入っても8つの分科会会場へスムーズに誘導していただいた。

私は第1分科会に参加させていただいたが7グループの内、第5グループで地元埼玉同友会の方がグループ長を務められた。他の分科会は分からないが全研では地元会員の相当数のグループ長が必要である。グループ討論ではパートナーシップについての議論が繰り広げられた。グループ長のまとめの後、私自身発表者をさせていただいた。

懇親会では他県の参加者に対して盛大な拍手で迎えていただいた。乾杯前の挨拶が長かったりテーブル上に飲み残しのコップが多くあったりと、改善した方が

良い点がいくつかあったが、全体としては「おもてなし感」が伝わり良かったと感じた。

2日目の記念講演、コメンテーターの方々と交えてのディスカッションも聞き応えがあり素晴らしいものであった。

参加してみて感じたことは、まず開催県の会員の団結が強いと感じた。長崎では全研に対する盛り上がりが見えない。先日の慶祝例会で同グループの会員に言われた言葉が「全研がいつなのかも知らないし執行部が誰なのかも分からない。それはあなたの方のアピールが少ないからだ」果たしてそうなのだろうか。執行部がアピールすれば良いのではない。会員一人一人、全国大会が長崎であるという事実をまずは理解しなければ成功はない。知ろうとしないから入ってこないだけであり、そして会員全員協力して長崎を盛り上げるという意識を持たなければ、いくらアピールしても糠に釘である。今回の埼玉は約850名、長崎全研は1,200名。他県での全国大会を知れば知るほど、経験のある諸先輩方の理解と協力が必須であると強く感じる。

第2分科会

事業承継、企業の社会的役割と責任の自覚

同友会の入会で生まれた承継への意欲

～主婦とのバランスと苦悩、キーワードは全て手に入れた～

(株)中央寝装 代表取締役社長

山口同友会

山口すみれ 氏

佐世保支部 松尾 慶一

私は使命を持って今回の女性経営者全国交流会に臨みました。それは、長崎全研のPRでしたが、参加した第2分科会の報告は心を揺さぶるほど素晴らしい60分でした。山口県の山口さんがこれほど苦労して事業を承継しなければならなかった報告は正直ショックでした。

しかし、布団の打ち直し家業から、同友会との出会いが有り経営指針の策定に取り組み経営理念をつくり、良き先輩・師匠に会い指導を乞い日本一の布団屋さんを目指し、布団を売るのではなく、お客様の悩みを解決する事を一緒に考える様にすることで売り上げは後からついてくる思いで各種資格を習得し「眠りをサポートする専門店づくりを目指す」その姿は感動



しました。

更にグループ討論では男性5名、女性4名という構成の中、最愛の御主人が数年前に突然亡くなられ呆然とする奥さんが社員さん達に支えられて今日、会社が存続していると目を潤ませながら話されていて、計画や覚悟も大切だが、いざという時にどの様に対処出来るかが経営者の条件なのだと教えられました。

そして、3人の子供たちを育てながら必死に仕事に取り組む報告者の女性社長からの一言は心に残る言葉でした。「布団屋は、儲かるよ～！」これを聞きながら育った子供達は将来家業を継ぎたいと思うのではな

いでしょうか？事業承継の大きな要因になるのだと教えられました。私達にそれが出来ているのでしょうか？

そして2日目は感動の3時間でした。埼玉同友会の久賀きよ江代表理事が10日前に長崎で講演をされた立教大学名誉教授 山口義行先生との出会いから隣接異業種への取組と新しい事へチャレンジする新規性5%への教えを聞くだけではなく独自に実行すること

で眼鏡販売店のオンリーワン企業となり物売りでなくお客様に寄り添うスタンスで同友会運動の体現者として報告をされました。従来の全国大会の形にとらわれず埼玉らしくシブサワスピリッツを掲げた取り組みは、私達の来年2月の長崎全研開催に大きな示唆をいただけました。ありがとうございました。

第5分科会

人を生かす経営の実践 ともに学び、育ち合う社風づくり

誰もが輝く「大家族経営」をめざして
～いのちのリレーを感動のバトンにのせて～

農業生産法人グリーンリーフ(株)代表取締役社長 群馬同友会 **澤浦 彰治 氏**

農業生産法人グリーンリーフ(株) 取締役 群馬同友会 **原 ミツ江 氏**

北松浦支部 **宮田 京子**

今年の女性経営者全国交流会、開催地は埼玉、過去最大の規模だったそうです。

1日目の分科会において、私は、第5分科会のグループ長を務めさせていただきました。「人を生かす経営の実践」というタイトルに魅せられて、この分科会を選んだ次第です。

人の採用の問題は、どこの会社においても、悩み多き課題であると思います。弊社も、創業から8年、幾多の苦難を乗り越え今があります。やっと人も定着し、各部署のリーダーの質も向上し、少しずつ落ち着きつつあることを実感する日々ですが、まだまだ道半ば、あらゆるところから学びを深めたいという強い渴望を、今回の分科会は十分に満足させてくれる、素晴らしい会でした。

群馬の農業法人グリーンリーフ(株)代表取締役社長澤浦さんとパート職員から取締役にまでなられた原さんのご報告を聞きました。創業からバブル時代、バブル崩壊後の不況時代と辿った道のりを、「我が社の採

用の泣き笑い」と題して語られました。会場の共感を誘いつつ、それを乗り越えていかれた軌跡は、会社の発展の歴史と重なるものと言えましょう。

そして平成26年頃からは人手不足の時代。会社は、家族の夢が叶えられる職場でなければならない、個々の能力を活かせるキャリアプランの成文化が必要というお考えが非常に印象的でした。何よりも、「育てる」から「育つ環境づくりへ」という考え。弊社も、毎月、全体研修会を実施したり、職員を外部研修に派遣したりと、様々な取り組みをしているつもりですが、人を育てていく、ということよりも、社員が育つ環境を、いかに構築できるか、その視点に立てば、まだまだ改善の余地は沢山あると思い知らされました。

2日目の記念講演は、埼玉同友会 代表理事 久賀きよ江さんによる「自社の存在意義を再定義し、隣接異業種へ挑戦」というお話でした。メガネの販売店を開業し急速に店舗展開した結果、さまざまなトラブルが発生。28年の業歴中、最初の10年は自流の経営、その後の同友会との出会いが大きな転機とされたそうです。

メガネから補聴器へ隣接異業種への挑戦、健康維持のためのメガネといった「快適」の追及、育てるではなく「育つ環境をつくること」。ここでも、同じく「社員が育つ環境をつくる」ことの重要性が出てきました。

それぞれの経営者が、それぞれに苦難を乗り越えて積み上げられたものがあって、それがその方の人格を魅力的なものにしているように思います。充実した2日間でした。

第8分科会

シブサワスピリットを学ぶ

シブサワスピリットでつなごう未来へ
～私たちが次の時代を拓く力になる～

(株)第一経営相談所 相談役 沼田 道孝 氏
埼玉同友会

同友会事務局 田口 友廣

最初にひとことでシブサワスピリットの定義がありました。それは「仁義・公益の経営」です。相手への思いやりと感謝をしっかりと持つことを表す「仁」、

正しい考えや正しい行いを表す「義」、相手への感謝、正しい行いの経営をしなさいということが前提の上に公益（国家や社会の発展・豊かさ）を目指すものです。また渋沢は「人をだまし、傷つけるような商売は認めない」、つまり彼自身は「正しい儲け」があることと、私利私欲によらない公益を目的とした「正しい経営」、商業道徳を目指すとはっきりと言っています。シブサワスピリットの大元は「正しい儲け」で「正しい経営」をしなさいということです。

渋沢は第一国立銀行（現在のみずほ銀行）を始め、非常に多種多様な企業の設立に関わり、また福祉関係・

教育関係など幅広い活動をされ、関わった会社、公益団体は600を超え、日本資本主義の父と言われる存在です。渋沢はパリ万博使節団の一員として派遣されたことで、経済・金融の在り方を学びます。そこで国力を高める、国富をもたらすのが民の力・経済力でそこが発展しなければならないと強く考えるようになります。

2008年の定時総会の分科会では赤石元中同協会長が「渋沢栄一」をテーマに報告し、高い評価をしています。理由のひとつとして赤石さんが追求してきた経営の王道、経営者としての究極の課題（生きる、暮らしを守る、人間らしく生きる）が働く人たちの自立と生きがいを生み出し、経営の発展へと展開して道を示すことですが、渋沢がその労使の在り方に踏み出していたことに赤石さんの感動を生み出していたようです。

一方で渋沢の提唱した経営の王道には「仁義忠孝」ということが含まれていて、当然「忠孝」であれば忠君愛国とすぐ結びつくわけであって、それが実際に戦争の体験者で社会的な大きな価値観の変化を経験した赤石さんのなかでは、忠君愛国を経営の究極の目的にするのはなかなか難しいという判断をしたようです。



最後にシブサワスピリットは、現代の企業経営や同友会運動の実践において様々なイメージが出やすいと感じました。またその実践のために今の時代における私たちの役割、同友会運動が持っている魅力や同友会運動が持っている力強さ、そういうものをしっかり私たちが身に付けていく必要があると知った分科会でした。やはり理念をしっかりと持って、理念に基づき、私たちが胸を張ってこの社会の中で大きな力となって経済社会自体を作り変えていく動きが必要になると学びました。

今回は貴重な学びの機会をいただきありがとうございました。

会員活躍

国際交流推進へ 包括連携協定

締結式は大村市の長崎空港であり、中村昭彦社長と佐藤快信学長が協定書に調印。佐藤学長は「産学連携の中で着地型観光プログラムの開発、物産の共同開発などに関わり、学生たちの学ぶ機会に発展できれば」とあいさつした。中村社長は「本県全体の活力を維持するには交流人口の拡大が不可欠。他の自治体との懸け橋となつてもらい、観光振興や地域活性化に向け具体的な検討を行いたい」と話した。（左海力也）

長崎ウエスレヤン大（諫早市）と長崎空港ビルディングは5月31日、国際交流の推進や地域振興を図る包括連携協定を結んだ。長崎空港ビルディングが大学と協定を結ぶのは初めて。

長崎ウエスレヤン大と
長崎空港ビルディング



包括連携協定書を締結した佐藤学長（左）と中村社長
—長崎空港

長崎新聞 6月1日 諫早支部 佐藤 快信 会員

日ごろの感謝を込めて

長崎女子短大生 父親らと一緒に料理

「父の日」（17日）を前に、長崎市弥生町の長崎女子短大（玉島健二学長）で16日、「男の料理教室」があり、学生が父親らと協力しながら「父の日膳」を作った。

生活創造学科栄養士コースの授業「長崎食育」の一環。学生の保護者ら約25人が参加した。2年生11人の指導の下、男性陣が約1時間かけ、「アジのカレムニエル」や「のっぺい汁」など5品を完成させた。

親子で調理した山本優香さん（19）は「普段は一緒に作る機会はないので楽しかった。いつもありがとのお気持ちを込めた、父の哲也さん（52）は「成長した姿が見られてうれしかった。これからは頑張る自分の道を進んでほしい」と顔をほころばせ（熊本陽平）



学生（左から2人目）と一緒に調理に取り組む参加者
—長崎市、長崎女子短大

長崎新聞 6月17日 長崎出島支部 玉島 健二 会員

「会員中小企業家に向けて」

長崎県商工会連合会 宅島 壽雄



プロフィール

生年月日 昭和19年7月18日生

長崎県商工会連合会 会長、雲仙市商工会 会長

・公職

全国商工会連合会 理事、長崎県神社庁総代会 副会長

(公社)島原法人会 会長、(一社)長崎県法人会連合会 副会長

長崎県中小企業家同友会におかれましては、「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」という三つの目的のため、自主・民主・連帯の精神のもと、日頃から地域の発展、振興のために尽力されておられることに敬意を表しております。

我々長崎県商工会連合会は、県内21の商工会とともに小規模事業者の支援のため経営改善普及事業をはじめ、社会一般の福祉増進に資する活動を展開し、地域社会と地域商工業の発展に尽力しています。

さて、我が国経済は、政府の経済施策の効果で緩やかながら景気拡大を続けていますが、商工会地域におきましては、働き手の不足、消費人口の減少による売上の伸び悩みなど、多くの経営課題に直面しており、いまだ景気回復の実感がつかめない状況にあります。

こうした中、地域経済の再生を通じて本県の経済成長を確固たるものとするため、商工

会は組織一丸となり、地域経済を牽引する中小・小規模企業の持続的発展を支援しています。

県下商工会を挙げて取り組む商工会中期計画では、売上や利益などが「5年後に5%増加する企業を500社創出」することを目標に掲げ、県や市町、その他支援機関と連携し、地域の強みや魅力を活かし販路拡大を目指す企業を積極的に支援し、都市圏からヒト・モノ・カネの流入を促進させ、雇用を生む繁栄企業創出による地方創生を目指していきます。

地域で懸命に自助努力を続ける中小・小規模企業の皆様のご苦勞が報われるよう、本会としましても施策の積極的な推進と、きめ細やかな伴走型支援を充実させて参りますので、長崎同友会会員の皆さまにおかれましても一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

V・ファーレン長崎



応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員（長崎出島支部）

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

長崎浦上・長崎出島支部 合同慶祝例会報告

日 時 6月18日(月) 18:30～21:00

会 場 サンプリエール



長崎浦上支部の慶祝対象者は喜寿が福富勝忠さん、古希が吉田清規さん、川野律子さん、宮崎涼子さん、還暦が島崎和紀さん、岩素子さん、鶴田好雄さん、浜口宏さん、多田長三郎さん、厄入が松野和治さん、下村理子さんの11名でした。例会には6名が出席されました。

17時から伊勢宮神社にて清祓いを行い、終了後にサンプリエールに移動して18時30分から例会が始まりました。

今年は慶祝対象者が多く両支部合わせて20名いらっしゃいました。記念DVDの映像も30分ほどありました。DVDの制作時間は200時間を超えたそうです。取材、制作していただいた上原さんありがとうございます。

また、祝宴の演舞でダンスチーム「クニザイル」さんたちの元気なダンスがありました。小さな子どもたちが音楽に合わせて大きく踊っていました。ダウン症の子どもたちも加わり、笑顔で踊ってお祝いをしてくれました。子どもたちに混じって品川さん、川野さん、岩崎さんもステージに上がり、楽しそうにダンスに参



加していました。年齢を感じさせないグルーブとキレッキレのダンスでした。会場のみんなが笑顔になり元気をもらった出し物となって良かったと思います。

例会後はそれぞれが会員さんのお店に分かれて、24時を過ぎるまで慶祝者のお祝いをしていました。私はスナック律子にお邪魔しましたが、宮崎さん、松尾友平さん、島崎さんの歌が聴けて良かったです。

例会担当の本多さん、会場のサンプリエールさん、柿川さん、記念品を用意していただいた内山さん、激辛シュークリームの萩田さん、衣装の協力をしていただいた中村さん、大久保さん、ありがとうございます。

(文責 長崎浦上支部 橋本 裕次郎)



慶祝例会に先立ち伊勢宮神社に於いて清祓いが滞りなく執り行われた。慶祝対象者8名、参列者9名が集

まり厳かな進行の後、伊勢宮前で記念撮影を行いサンプリエールへと移動した。

例会ではレイガーさんの司会進行で、加瀬さんのスローガン唱和、長崎出島支部長の開会挨拶の後、慶祝対象者に登壇いただき、それぞれの代表の方に挨拶を頂戴した。引き続き上原さんの心のこもったDVDを鑑賞した。作品は慶祝対象者の人柄が良く表現された素晴らしいものであった。製作にも大変なご苦労があった事は見て取れるもので、心より敬意を表したい。金子さんの乾杯の後、祝宴が開催された。

余興では長崎出島支部執行部の皆様による「辛子シュークリーム」を使った楽しいゲーム。また安井さんの紹介でダンスチーム「クニザイル」の皆様による

感動のダンスを楽しんだ。浦上支部 西村さんによる中締めの後、それぞれ夜の街へと繰り出した。

何事も、事を成す陰には裏方の皆様の努力がなければ成り立たない。今回も例外なく本多さん、浦上支部橋本さんを中心に時間やお金を割き、尽力いただいたことに会員の皆様を代表して心より御礼申し上げると共に、今後も会員の皆様には執行部の会運営に御理解と御協力を賜りたいと願う。

(文責 長崎出島支部 萩田 実)



大村・諫早・島原3支部合同例会報告

日 時	6月27日(水) 18:30～21:15
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	創成館と私を救った「7つの習慣」 ～リーダーの信念が組織を変える～
報 告 者	・学校法人奥田学園 理事長 ・創成館高等学校 校長 ・長崎就職支援カレッジ 校長 奥田 修史 氏



毎年恒例の3支部合同例会では過去最大級の参加者で緊張感漂う中、「どうも、〇〇学園です!」と軽快なジョークから始まり、会場の空気を一瞬にして和やかにし、参加者の心を掴んでしまいました。

経営危機に直面するなかで理事長を引き受けられ、



精神的にも追い詰められた状況の中で世界一のビジネス書「7つの習慣」に出会います。この「7つの習慣」は人生で

成功する「ものの見方」と「行動をしてくれる学問」として、カリキュラムに導入し学生への教育に活用されています。

今回の報告では「自分の反応を選択する」をキーワードに具体的にお話いただきました。我々に起こる出来事(刺激)に対し、感情的に反応するのではなく、出来事(刺激)に対し、スペースを空けて(一呼吸おいて)、より良い反応を選択することがその後の結果に影響することなど事例を通じてわかりやすく説明していただきました。

軽快なテンポで話しつつも時折、経営者としての熱い思い、力のこもった報告には多くの参加者が感銘を受けたのではないのでしょうか。

報告の冒頭で、「創成館は変わりましたね」と言われますが「変わった」のではなく、「何かしらの努力があって変えたんだ」という強い経営者としての意思の必要性、行動力、未来を描くビジョンなど多くのことに気づきを得た例会となりました。

(文責 大村支部 徳田 義彦)

今や創成館高校と言えば長崎県を代表する話題性のある高校に成長し、奥田さんの校長就任を機に、数年で大きく変化を遂げた組織という見方もできます。奥田さん曰く、「変わったんじゃない、変えたんだ」とのこと。そこには、並々ならぬ信念を持った変革の歩みを感じられました。その創成館をつくり上げた重要な指針の1つに、7つの習慣があります。そこでは人生で成功するための「ものの見方」と「行動」を教えてくださいとのこと。確かに、一見高校生に対してのテーマには見えないものばかりが並んでいました。本来学生は「学ぶ」ということを、「目的」として教えられ

がちではありますが、目的自体が嫌なことでは、勉強嫌いな子は上手く行くはずありません。7つの習慣は「手段」として考えられるきっかけになっていると感じました。このことは、企業に対してもそのまま活かすことができます。明確な目的を掲げ、それを一緒に目指す同志の輪を広げていく活動こそが組織づくりであると感じました。

短い時間の中で奥田さんがこれだけは覚えて帰ってと言われたことが、自分の反応を選択するということです。簡単に言えば、パラダイムシフトを受け入れなさい、価値観は違って当たり前だと言うことと自分な

りに捉えました。これは、7つの習慣の「ものの見方」にも通ずることです。

ものの見方を変えることは、決して簡単ではありません。今までの経験則があるからです。しかしながら残念なことに、社会全体でも世代間でもその価値観は、大きく変化し、多様化しています。つまり、経験則が無意味なもの、更に言えば、邪魔なものになる可能性だってあるということです。その変化に順応していく大切さを感じました。

創成館高校はその9割が、第一志望で入学してくるそうです。いわゆる選ばれる学校に成長をしています。それは、この7つの習慣の行動指針が、対外的にも発揮されている証拠ではないかと思えます。企業も同様です。求職者に選ばれる企業づくりをして行かなければ、これからの時代を生き抜くことは難しいでしょう。合わせて、時代の変化に取り残されないことも重要で



あると感じました。

同友会自体も会員に選ばれる組織でなければなりませんし、その会員企業はここで学んだことを実践することの大切さを学びました。

(文責 諫早支部 時 寛)

名前を書けば誰でも入学できる、偏差値無しとまで言われ、生徒数も減って経営破綻寸前の学校が、「最近変わりましたね」と言ってもらえるようになりました。奥田校長いわく、それは自然に変わったのではなく変えたのだと。人の力、努力なくして組織が変わるわけがなく、何かしらの作用が起こって努力して変えたプロセスがある。今の創成館は、有名大学への進学実績を伸ばして来ており、部活動でも野球が甲子園に4回出場、サッカー（九州ベスト8）、バレー九州（ベスト4）と活躍しています。文武両道の学校と認知されてきており、入学生の9割が第一志望で入学しています。8年連続で定員オーバーするほどの高校となり、今後は、就職面にも力を入れていくとの事です。

そのような創成館の改革のなかで、『7つの習慣』『人生で成功する為の、物の見方と行動を教えてもらえる学問』を取り入れ、お金を稼ぐ事だけではなく、自分らしくどうやったら生き生きと過ごせることが出来、人生を全うする事が出来るかという、行動、物の見方、

考え方を身に着ける為に1年生が入学して直ぐに授業のカリキュラムに問題解決に導く技術、ファシリテーションを取り入れながら行っているそうです。

今回の奥田校長の話で、相手を理解してから理解されるようにして行く習慣が大事で、相手がわかる言葉で、相手に興味を持ってもらえる言葉で話をする事の大切さ。パラダイムに沿って行動しているので、それが今の結果となっており、潜入感、思い込み、考え方、固定概念を外せば、目の前に見える苦悩困難も変わるので、前向きに生きる為には前向きな思考、考え方が大事なのだと。何か物事が起こった時、冷静に考えて選択して物事を進める事が良い結果を生むことに繋がる事という、反応を選択することの大切さを知りました。ものの見方、考え方が変われば、風土が変わり組織が変わり、会社が変わる。自分を見つめ直すいい機会となる例会になりました。

(文責 島原支部 北尾 新)

佐世保支部 例会報告

日 時	6月22日(金) 18:00～20:00
会 場	陶農レストラン清旬の郷
テ ー マ	まわり道から学んだこと
報 告 者	(株)丸研特殊印刷 丸田 敦史 会員

年に一度の移動例会が波佐見町中谷さんの事業所「清旬の郷」にて行われました。

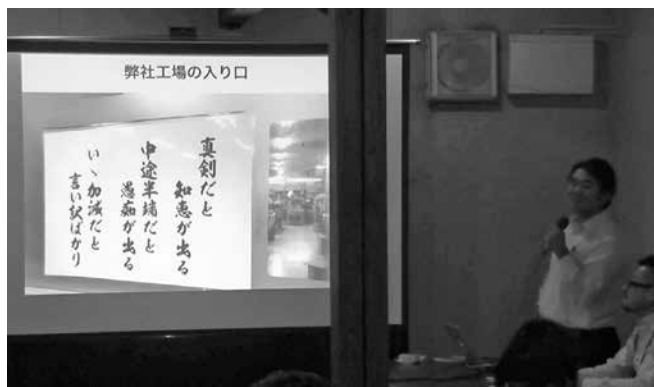
報告者の丸田さんとは約3年前に波佐見のイベン



トで一緒したのがご縁で、その際伺った彼の履歴に大変興味を持ち経営体験報告を是非行って欲しいと思っておりました。

大学受験、就職活動、現在と大きく3つのテーマに分けられ、その節目、節目にしっかりと自分自身の思いに向き合ってこられた「まわり道から学んだこと」と言う報告でした。

各グループからも「自分の思いに対峙しながら歩ま



れてこられた体験は結果まわり道ではなかったのではないか」との感想も多く聞くことができました。

また、1番多かった「何故波佐見に戻って来られたのか？」と言う質問に対しても、見かけによらぬ真摯な面を覗かせる彼の回答に皆さんも納得されていたようでした。

丸田さん自身、後継者と言う立場で現在ご活躍され



ていらっしゃいますが、来るべき将来に備えて経営指針の策定にも前向きに取り組んで行きたいとの思いがあられる事から、これから同友会での学びと共に益々発展されて行かれる事を確信した移動例会でした。

(文責 野田 洋市)

北松浦支部 例会報告

日 時	6月21日(木) 18:30～20:30
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	若手経営者向け事業計画書作成のすすめ
報 告 者	木場田社会保険労務士事務所 代表 吉田 大 会員



吉田さんは、元外資系コンサルティング会社のコンサルタントで、自身が「カネなし」「コネなし」「経験なし」の状態での事業開始前から作成していた、経営指針の核である事業計画書の作成方法を「事業計画書作成のすすめ」として報告されました。

18歳まで佐世保で過ごし、東京へ移り帝京大学卒業後、リスクコンサルティング会社で、アメリカのシカゴに本社を置くAONグループ エーオンアフィニティジャパン(株)に入社されました。8年ほど経った頃、実家の農業を継ぐために長崎県に帰郷、4年程実家の農業を手伝いながら社会保険労務士試験の勉強をし、資格を取得、平成27年9月に事務所を開業されました。



報告の内容は、事業計画書作成の際の重要ポイント「数値分析」「SWOT分析」を重点的に、創業したての経営者や、小規模の事業者でもわかるよう、詳しくわかりやすいものでした。また、事業計画書のとおり吉田さんが事業を3年間実践したことで事業が軌道に乗っていること、さらに事業実績がない創業時の資金調達時に、事業計画書通りに実践することで、無担保無保証の銀行融資、創業補助金を勝ち取った実績、吉田さんの事務所の詳しい業績もご報告いただきました。事業計画書は完成させることが目的ではなく、「誰に対して事業計画書を見せるのか」事業計画書を作成する目的を明確にすることが重要、難しい事業計画書は不要であると報告いただきました。

「カネなし」「コネなし」「経験なし」の状態、持ち前の行動力を生かされ、事業計画書通り、事業計画書以上の業績を上げられている吉田さんの報告は素晴らしいものでした。

「事業計画書作成」について、計画し実行することで、自身が目指すものがかなうものであると多くの学びを得た例会でした。

(文責 上野 健太郎)

五島支部 例会報告

日 時	6月23日(土) 18:30～21:00
会 場	観光ビル はたなか
テ ー マ	事業承継と同友会活動
報 告 者	(有)廣谷環境開発 代表取締役 廣谷 慎也 会員(諫早支部)



今回の例会は諫早支部より廣谷慎也さんをお招きしました。座長は諫早支部長の馬場一信さんです。その他10名(合計12名)の諫早支部の方が五島支部例会まで足を運んでいただきました。

廣谷さんは、元々父の会社とは関係のないところで働いており、兄の体調不良をきっかけに事業のお手伝



いに帰りました。

その後、兄が会社を継ぐと思っていたところに兄の他界がきっかけとなり廣谷さんが事業承継することになったそうです。兄が入っていた同友会に入るきっかけがあり、入会後に同友会で学んだ事を生かし、3つのテーマ「自己改革」「社員第一主義」「経営指針書」をかけた事業に勤しんでおられます。

しかし事業承継にあたり特に悩みとなったのは現会長である父との考えの違いだそうです。現在、五島支部には、事業承継をする方、される方もいるのでそれぞれが参考・勉強になったかと思います。45分の報告では足りない感じはありましたが、詳しい話はこの後に控える懇親会へと熱を持って移動することとなりました。

(文責 浦上 純人)

青年経営者会 慶祝例会報告

日 時	6月23日(土)
会 場	昼の部 13:30～ Nagasaki House ぶらぶら 夜の部 18:00～ ZAC長崎中央店



今回対象者の貞松 徹さんを囲んでの厄入り慶祝例会を行いました。昼の部は茂木の「Nagasaki House ぶらぶら」さんでSUP体験を開催。サーフボードより一回り大きいボードに立ち、1本のオールで漕いでいくマリンスポーツ。バランス感覚が必要で体幹を鍛える事が出来、気持ちよく波の上を漕いでいく。一緒に厄を担ごうと青年経営者会有志数名で同じく体験させていただきました。初めのうちは全員が海に落ちて



いましたが数回チャレンジするとある程度乗りこなしていました。SUPのように厄もいい波に乗って行けるように思います。

また夜の部はZACにて厄入り慶祝懇親例会を開催。20名近くの会員さんが集まり盛大にお祝いさせていただきました。厄入りと言えば深夜0時まで帰さないのが長崎ルールですが、2次会は河合さんの「華恵」のパーティールームを使わせていただき、3次会、4次会は分部幹事長の「アクアガーデン」や広田さんの「モラード」、体験入会の久米さんのお店「オアーズ」など朝方まで大盛り上がりの慶祝例会となりました。

(文責 安井 忠行)

6月5・6日 中同協関連会議 参加報告

・中同協 中小企業憲章・条例推進月間キックオフ会議

開催日時：6月5日(火) 13:30 会場：憲政記念館

・九州・沖縄ブロック代表者会議

開催日時：6月6日(水) 9:30 会場：東京同友会 会議室

・中同協 第5回 幹事会

開催日時：6月6日(水) 13:00 会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

中同協 中小企業憲章・条例推進月間キックオフ会議が国会議事堂横の憲政記念館で開催されました。主な開催趣旨は、中小企業憲章が制定され8年が経過した現在の憲章の進捗状況の検証と国会議員の皆様にも更なる認識を深めていただき、中小企業憲章の国会決議を含め国政において中小企業憲章の精神を政策に具現化するための契機にするものです。

この様な思いを持った同友会会員が全国ら175名・国会議員25名・秘書14名 その他にも日本商工会議所・全国中小企業団体中央会・全国商工会連合会・全国商店街振興組合連合会の4団体の方も参加されました。

衆議院経済産業委員長の稲津 久氏の挨拶があり、中小企業庁長官 安東 久佳氏より「中小企業憲章の理念に基づく中小企業政策の具体化」と題し講演がありました。

現在の中小企業の経営課題は人手不足です。対策として業務の見直し、働き方改革による効率化、付加価値の増大で魅力ある企業、若者に選ばれる企業にならなければならないとの報告に身につまされる思いでした。

翌日は9時30分より九州・沖縄ブロック代表者会議でした。各県の会員増強の取り組み状況、例会、理事会の状況、会費の値上げ状況などの報告がありどの県も同じ様な状況である事と、その様な中で各県の代表者の方の頑張りには刺激を受けました。

午後からは中同協第49期 第5回幹事会が13時から17時まで開催されました。資料がA477ペー



ジと当日資料、これからの全国大会案内資料等で狭い机の上が大変な状況でした。長崎同友会の全研の提案を松尾実行委員長に代わり提案させていただき、開催日時、テーマ、開催意義、記念講演等承認をいただきました。

その後、会員5万名達成に向けて各県の会員増強についてグループ討論がありました。

多くのゲストを呼び、入会のアプローチを素早く行い、入会されたら直ちにフォローアップセミナー等を開催して仲間意識、参加意識をつくる事で新入会員からの紹介も増え、退会者も減る事が私のグループでは確認されました。非常にタイトなスケジュール、内容でこれからの幹事会に不安を覚えながら帰ってきました。

(文責 代表理事 金井 政春)

九州・沖縄ブロック代表者会議では各県の活動状況や九州・沖縄で今後開催される行事の進捗、各県の参加目標などを確認し、中同協青年部連絡会についても名称については九州・沖縄ブロックの青年部連絡会としての名称使用を認められるように今度の代表者会議に提案していただけることや合同例会の開催月などを今後も協議していただけることになりました。

午後からの幹事会では盛りだくさんの議題があり議事録の作成方法の提案や各ブロック長会議の内容報

告、兵庫全研のまとめと決算報告、長崎全研の企画概要と予算の提案を金井代表が発表され無事承認されました。

グループ討論では最初に全国5万名会員達成に向けて中山幹事長より資料を確認しながらの報告と問題提起があり、その後各グループで自分の県の取り組みなどを報告し減らさず増やしていく為にはどうしたら良いか話し合いました。長崎同友会は9年連続の会員増となっている事や仲間づくりの日や表彰制度などを行

なっていることを報告しました。やはり松尾前代表のことは全国でも有名であり長崎同友会の取り組みをぜひ行っていきたいといった意見もいただきました。他県では青年部や女性部の活動が増強につながっているというお話や、金融機関から年間80名の紹介を受けているなど会員のつながり以外の増強もあることやプレジデントの記事を紹介して入会された会員のお話などがありました。

その後も各委員会の報告や多くの議題があり長時間でしたがあっという間に時間が過ぎたようでした。初めての幹事会参加でしたが、全国の幹事皆様の熱い情熱を感じました。



(文責 専務理事 山口 善也)

県政策委員長として、県内各支部全エリアへの振興基本条例制定実現へ向けた活動の一環として、全国の事例を知り見識を深めるために標記会議へ参加した。講演にて安藤中小企業庁長官より中小企業支援策についての説明があった。問題が多様化している現代において政府もあらゆるメニューを開発していることを知った。詳細は中小企業白書などを参照。最新版より具体的な事例紹介等もありこれは一見の価値あり。

次に日本商工会議所をはじめとする全国経済主要団体からの報告では、主に人手不足にどう対応するか、また来るべき消費増税に向けての対応検討の必要性が語られた。

そして各地同友会における振興基本条例の制定とその活用事例についての報告があった。特に静岡同友会からは「富士宮市中小企業振興基本条例」について触れられ、これが町全体において頑張る企業を差別なく応援できるツールのひとつと位置づけられ、定例開催の中小企業振興懇話会でも積極的な意見交換がなされている様子が報告された。また、その中での議論の前提となる実態把握について正確性を期すために外部委託調査されていることが印象に残った。これらの成果として、中小企業向けの異業種工業団地設置に向けての検討がなされているとのこと。このような目に見える成果を上げていくことで更に推進力があがるものと思われる。

そして休憩をはさみ、国会議員からの憲章具現化に

向けた意見発表がなされ、中には同友会提案の「中小企業の日」制定実現に向けた取り組みに触れる議員もいた。出席者は議員本人25名＋秘書14名の合計39名で、場所が変更になったことも影響したのか例年よりは少数であったとのこと。自民党（与党系）議員の出席が増えていることについては前向きに語られていた。総じてしかしこの時間が必要であるかは疑問の残る時間であった。この時間のまとめとして中同協中山幹事長から、憲章・条例制定運動には多くの会員が参画することが肝心であり、地域づくりと企業づくりは不離一体であると説かれた。

我ら中小企業家はその割合からも分かるようにこの国の主人公となっている。ならばその役割をより強く認識している同友会が各種団体に先駆けて地域のために運動展開を推し進める必要がある。しかし今の我々だけでは、改革に時間を要するところもある。だからまずは仲間を増やしその運動のうねりを大きくすること。そして他団体とも連携を図ることで叶えたい夢が一步でも早く実現する。そのためにはそれぞれの地域において同友会がどのように位置づけされているか、また会員自身が地域で必要とされる人材と認められているか、このことを自分自身にまずは問いかけながら参加報告と致します。

(文責 政策委員長 時 忠之)

皆様ご存知の通り、2010年6月18日、「中小企業憲章」が「閣議決定」されました。「国会決議」をめざし、毎年この時期にキックオフ会議が開催されています。

憲章の冒頭には「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である。」と謳われていますが、社会において、その認識はまだ薄いのが現実です。そこで現在、中小企業家同友会は、広く国民に中小企

業の重要な役割を意識してもらうために「中小企業の日」の制定運動も進めています。

中小企業振興基本条例も現在、長崎県と大村・松浦・平戸・雲仙各市の制定に留まっています。長崎同友会としても、改めて憲章・条例について会員の皆様に認識を高めていただき、まずは支部所在地の全市制定に向け、活動を進めなければならないと痛感しました。

6月6日の午前中は、九州・沖縄ブロック代表者会

議、午後は幹事会でした。5年ぶりの参加は、緊張するとともに、たいへん身が引き締まる思いでした。

ブロック代表者会議は、各県の活動報告と、今期の重点方針（企業づくり・地域づくり・同友会づくりに分けて）の発表、ブロック内行事についての協議確認等を行い、「九州はひとつ」という共通認識を得られることができ非常にすばらしい機会となっています。幹事会では、長崎全研の概要について、金井代表理事による提案に対し、満場一致で承認をいただくことができました。いよいよ本格的なスタートを迎えることとなったわけです。皆様ご協力の程よろしくお願い致します。

幹事会では、毎回問題提起とグループディスカッションが開催されます。今回のテーマは、中同協設立50周年（2019年）会員5万名達成に向けて、組織強化の取り組みについてでした。

皆様のおかげで、長崎同友会の会員は、全国同様2010年度から9年連続で純増を続けています。と同時に2014年度からは最高会勢を更新し続けています。

今回、前期の純増数についてすばらしい記録を伺いました！全国477支部・地区の内、なんと我々が佐

世保支部が36名で全国トップ！また、長崎出島支部が18名で14位タイでした。本当に支部長・仲間づくり委員長はじめ役員・会員の皆様ありがとうございました。（後日、8月24日の組織強化・会員増強全国交流会に佐世保支部の取り組みについて報告依頼がありました。原田さんと野田さんが報告されます。皆さん応援参加よろしくお願ひします。）

事務局として、これらの会議で学んだことや得た情報をまずはきちんと咀嚼し、しっかりと発信していく所存です。参加させていただきありがとうございました。

（文責 事務局 山田 幸司）



中同協 障害者問題委員会 参加報告

開催日時：5月18日（金）13：00～17：00 会場：全水道会館

菅原千代枝委員長の代理で、初めて全国の委員会に出席させていただきました。さすがに全国から集まった皆様の議論はレベルが高く、それぞれの志の強さを体感できて、圧倒されるような時間でした。

来年10月滋賀県で開催予定の第20回障害者問題全国交流会に関する基本案の協議、今年9月13日開催予定の第6回人を生かす経営全国交流会 in 宮崎に関するスケジュール案等の協議を行いました。

そして、比嘉あみ子障害者問題委員長が、沖縄移住後に歩まれたご自身の軌跡をもとに、同友会活動に心血を注がれ、地域に多大なる貢献をされた体験談を語られました。比嘉委員長の実体験に基づく熱い信念、大変勉強になりました。

グループ討論では、①障害者問題委員会の目的と理念について、②理念を生かした仕事づくりと地域づくり、というテーマで意見を交わしました。

最後に、特別報告として、「障害者をしめ出す社会は弱くもろい～障害者権利条約の時代と同友会企業への期待～」という演題で、日本障害者協議会代表の藤井克徳氏の報告がありました。その中で、大変印象的だったのが、アウシュビッツ収容所のユダヤ人虐殺の



前に、実は、障害者を抹殺する動きがあり、そのことが後々ユダヤ人虐殺に繋がっていったのだ、という話でした。

即ち、優生思想のもと、良い種だけを残すべき、という誤った考えで、障害のある人がわずか数人の

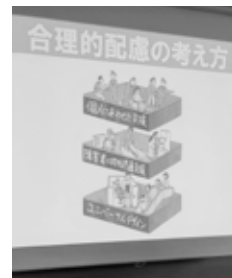
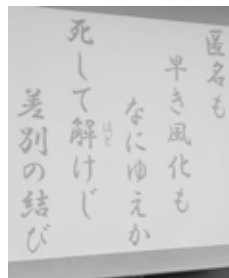
医師の選別で、無残にも、ガス室に入れられ殺されていった事実があるそうです。ガス室行きが決まった人は、お風呂に入るからと言われて自ら服を脱ぎ、裸のまま部屋に押し込められ、約10分、毒ガスを噴霧され死んでいったそうです。更に残酷なのは、死体を引きずり易くするために、床を滑り易い素材に改修してあること。悲しい歴史を始めて知りました。

人は、誰もが平等で、「人」として尊重される存在であるべきです。過去の過ちを繰り返さないためにも、同友会活動において、しっかりと現実を受け止め、問

題意識をもって、より良い社会作りに貢献すべき、という思いを強くしました。

懇親会にも参加しました。盛り上がりました。新しい仲間ができました。ありがとうございました。貴重な機会をいただき感謝です。

(文責 北松浦支部 宮田 京子)



第20回 中同協 青年部連絡会 in 静岡 参加報告

開催日時：6月14日(木) 13:00～17:00 会場：レイアップ御幸町ビル

静岡でおこなわれた中同協青年部連絡会に参加しました。まず今後の青年部連絡会の組織体制について下記の報告がありました。

代表は奈良同友会の中野愛一郎氏。そして、ブロック担当副代表として6名。九州・沖縄ブロックの担当として、私、山口が選任されました。また、課題別担当副代表として3名選任されました。

この新体制を6月の中同協事務局次長会議、中同協正副会長会議にて協議し、7月の幹事会に提案する予定です。各ブロックに副代表を置くことで、本会との連絡・連携が取りやすい組織づくりをしっかりとやっていくという説明がありました。次に青全交in沖縄について企画概要の報告がありました。その中で今回は12分科会+2見学分科会となり各県の推薦報告者に概ね報告していただくことが出来たが、今後は学びの質の担保として高い基準を設け報告者を選考していきたいと思っているので、今までのように推薦者全員が報告できるわけではないということを踏まえて推薦してほしいということでした。次に次年度の青全交開催予定の熊本同友会から大まかな概要の説明がありました。今後熊本同友会の理事会承認を経て実行委員長より順次報告していくということでした。

続いてのパネルディスカッションでは「中日本ブロックの青年部活動の取組み」というテーマで4人のパネリストと愛知同友会の石川さんがコーディネーターとなっておこなわれました。各県青年部の取り組みや本会との違いや青年部活動をすることのメリットなど忌憚なく意見が交わされグループ討論では「自県青年部の課題を把握していますか？それにどの様に向き合っていますか」というテーマで討論しました。設立したばかりでなかなか会員さんに思いが伝わらず関わってくれる人が少ない県や40歳という年齢制限があるので、入会してもすぐに卒業してしまい増強するのが難しいなど様々な課題が出されましたが、同年代の若いパワーを感じながら切磋琢磨していく学びをいかに伝えていくか、ということが課題解決に必要なこ



とではないかというまとめとなりました。

連絡会終了後は静岡同友会青年部例会に参加し、一つの会場に入りきれない190名の参加者の熱気を感じながら青年部活動の良さをあらためて知った例会でした。

(文責 長崎浦上支部 山口 善也)

諫早支部産学連携委員会 ウェスレヤン大学『就職活動スキル』参加報告

開催日時：6月19日(火) 16:30～18:00 会場：ウェスレヤン大学

報告者：(有)時代屋 時 寛 会員、(株)富建 野方 康平 会員、(株)宮崎電気工業 宮崎 大輔 会員



ウェスレヤン大学2年生に諫早支部より3人による講座を行いました。時さんからは採用の重視する点を3つ話していただきました。

責任の重さ、目的と目標を持つ、感謝する。この3つを思って就職に挑んで欲しいと話されました。また、社会人になるとコミュニケーションが大事と言われて

いました。

野方さんからは富建が求める人材を話されて、学生と社会人の大きな違い、リーダーの素質や求められ方が違うので、しっかり学生生活を送って欲しい、何事にも興味を持つことが大事で実行力を身に付ける事が大事だと言われていました。

宮崎さんからは会社が求める人材は、実行力（アクション）コミュニケーション能力（チームワーク）提案力（シンキング）を持つ人材を求められていて、今の会社をよりどういう風にしたら良くなるか？一緒に考えて行ける人を採用していけたらと話されていました。

生徒からも質問が出て、意見交換も出来ましたが、もっと学生の意識の中に就職活動の興味が出るように続けていけたら良いと思いました。

(文責 諫早支部 寺尾 昌晃)

What is 共同求人？

共同求人委員長 橋口 久

共同求人委員会連載コラム 第5回

共同求人委員会を知るイベント情報！

共同求人委員会が設立されて4ヶ月。県内でも共同求人委員会の知名度が上がりはじめ、同時に、「共同求人委員会ってなんばすつと？」という声もますます増えてきています。有り難いことです。そこで、共同求人委員会の活動を知るきっかけとなるイベントを2つ予定していますので、皆様にご案内します。ぜひご参加ください！

8月22日(水)・諫早8月例会



諫早支部 共育・共同求人委員長
時 寛 会員



県共同求人委員長
橋口 久 会員

諫早支部の例会にて、共同求人をテーマに、諫早

支部の共育・共同求人委員長の時寛会員と、県委員長の橋口が同友会が目指す三位一体の経営の一つをなす共同求人委員会の意義と目的、そして、共同求人活動に会員さんがどう参画していくかをお話します。共同求人委員会としては、初のイベントとなりますので、ぜひ諫早支部以外からのゲスト参加もお待ちしております。

10月26日(金)・第25回経営フォーラム



宮崎同友会 共同求人委員長
阿萬 英一朗 会員

経営フォーラムの第1分科会は、宮崎同友会の共同求人委員長の阿萬英一朗会員に、共同求人運動を通して変わった会社と経営者人生について報告していただきます。宮崎同友会にはもともと共同求人委員会があったのですが、しばらく休眠状態が続いていました。その頃、自社経営に悩んでいた阿萬会員は、ある全国大会で共同求人委員会が会社を変えるきっかけになることを学びます。そして、全国大会から宮崎に戻った阿萬会員は、宮崎同友会に共同求人委員会を復活させ、自社の「(従業員・求職者に)選ばれる企業づくり」に着手していく…そんな報告となる予定です。第1分科会にもぜひご参加ください！

事務局企業訪問

五島市三井楽町に事業所を構える、五島支部 谷川喜一さん（五島トラック建設（有））にお話を伺いました。



＜五島トラック建設（有）＞

1954年に谷川喜一さんの祖父が設立。当初は運送業を行っていましたが、現在では建設業・運送業、特に道路の維持工事や改良工事を行っています。

【後継者として】

谷川喜一さんは4人兄弟の長男として生まれ、高校卒業後は福岡の大学に進学。進学にあたっては、中学生くらいから家業を自分が継ぐのが当然という気持ちが自然と芽生え、迷わず土木工学科を選びました。大学卒業後は東京が本社の道路舗装専門の会社に就職、33歳まで勤めました。退職のきっかけは、五島トラック建設の仕事が忙しくなり親から辞めて帰ってこいと声がかかったことです。これを機に五島に帰郷し五島トラック建設に入社しました。

【同友会での学び・人との出会いの中での学び】

谷川さんは五島支部設立半年後の2014年4月に同友会に入会。知り合いもまったくない状況で、最初は例会に行きづらかったそうです。しかし入会して半年を経った頃に例会委員長という役を引き受けることで、積極的に会に関わることができ、支部のメンバーを通じて学び合うことができるようになりました。

特に支部会員からの何気ない一言で学ぶことが多々あり、ある時谷川さんが仕事で父と衝突することを悩んでいたところ、辻支部長から「お父さんを越えなきゃね」の一言で自身の考えが大きく変わり、父に対する接し方が変わったそうです。

それはどうすれば父を越えられるのかと考えた時に、「やかましく自分の意見ばかりをいうのではなく、きちんと親の意見も聞こう。父には楽をしてもらおう」という気持ちに変わっていったそうです。ここで相手を変えようとするのではなく、自分が変わることで相

手も変わるということを学び実践できました。

【経営理念の作成】

経営理念は2017年9月の例会報告をきっかけに作成しました。例会報告にあたり、自社の歴史を調べ、自身の仕事に対する考えを整理し父母と相談して完成しました。

＜経営理念＞

- ・顧客満足の充実と共に社員及び社員家族の幸せの追求に貢献する
- ・社員、地域と共に歩み、誠心誠意のモノづくりに努める

理念作成の考えの中心にあったのは、社員を大切にしたいという思いです。それは同友会の学ぶ中で経営において社員を大切にすることが重要であることに共感、まずは社員のことを考えた理念をとるという思いで作成しました。

まだまだ自社で落とし込めていないのが課題というのですが、理念を作成することで谷川さん自身が理念を意識して行動するようになりました。社員のことを気にかけて声をかけるようになり、現場で迷ったときに判断の基準となると実感しています。

また「共に歩み」という言葉を意識することで谷川さん自身にも変化が生まれ、自分ひとりで決めずに社員に悩みや課題を素直に話す機会が増えてきました。チームワークも良くなったように感じ、「経営者と社員がコミュニケーションをしっかりとることができる」これが、当たり前のことではあるけれども非常に大切な事でこれからも社員とのコミュニケーションを大切に、共に成長していきたいと語られました。

今回は企業訪問にご協力いただきありがとうございました。谷川さんの何事にも真摯に取り組む姿勢、他者の意見を素直に聞き自社に取り入れ実践する姿が非常に印象に残りました。これからの谷川さんのご活躍祈念いたします。

＜会社概要＞

五島トラック建設（有）

住所：〒853-0601

長崎県五島市三井楽町濱ノ畔1398-1

TEL：0959-84-2075 FAX：0959-84-2845

（文責 田口 友廣）

7月理事会 報告

7月3日(火)19:00～21:00
つくば倶楽部 出席16名 欠席13名(台風のため)

開会あいさつ (抜粋)－金井代表理事

台風という状況のなかで、今回の理事会の開催は大変迷いました。今日の取り組み方、判断の仕方を反省して今後に生かしていきたいと思います。

仲間づくりについて

- 1)入会・退会の承認－入会7名・退会3名を承認
- 2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について
原田仲間づくり委員長総括－(原田委員長欠席のため、山田事務局長より)
8月24日 5万名会員達成に向けて 2018組織強化・会員増強全国交流会が開催されます。昨年度全国純増1位ということで、前佐世保支部長の原田さん(現県仲間づくり委員長)、前佐世保支部仲間づくり委員長の野田さんお二人に報告いただきます。ぜひ多くの皆様に応援を含めてご参加いただきたいと思います。

協議・承認事項

- 1)役員研修会について(9月8日(土))－中村副代表理事(欠席のため、田口事務局主任)
(前回理事会までの承認事項)
 - ・全研の意味を理解していただき、何のために開催するかを確認する場にできれば
 - ・全研の満足度は分科会の結果も大きく占めるので、分科会の在り方も含め、全研実行委員会と連携しながらグループ長、室長の研修をメインとして検討していきたい
 - ・会場 ・内容 ・タイムスケジュール
 - ・「人を生かす経営」についても学ぶ時間を設ける(今回提案)
 - ・内容(一部修正) ・タイムスケジュール(一部修正)
 - ・参加目標(支部役員の40%) ・予算→すべて承認
- 2)経営フォーラムについて－村上実行委員長(欠席のため、山田事務局長)
(前回理事会までの承認事項)
 - ・開催趣旨
 - ・メインテーマ「変化と挑戦こそが、中小企業の成長を後押しする原動力!!」
 - ・サブテーマ「日本の西から中小企業の元気を全国へ!!」
 - ・開催場所(九十九島ホテル&リゾート フラッグス)
 - ・記念講演講師(徳武産業(株)十河孝男(そごう たかお)氏)(香川同友会)
 - ・スケジュール ・参加費－6,000円(一律) ・目標－会員
 - ・ゲスト320名、来賓20名 ・予算案
 - ・バスのルートと支部別目標については役員会で協議後、役員会翌日に事務局への報告を依頼
 - ・今後の詳細については実行委員会一任とし、都度理事会で報告
 - ・分科会報告者
 - 第1(人財) 阿萬 英一朗会員 (株)アーム(宮崎同友会)
 - 第2(挑戦) 綿川 淳子 会員 (株)佐世保福祉(佐世保支部)
 - 第3(変化) 吉澤 健 会員 (株)ヤマハマリン西九州(長崎浦上支部)
 - 第4(地方創生)時 忠之 会員 (株)大幸企画(大村支部)
 - ・見学分科会 第1案 ジャパネットたかた
 - 第2案 宮共生会(今回提案)
 - ・見学分科会について(第2案への変更・定員28名に・特別なタイムスケジュール(10時発))→すべて承認

- (確認事項)
 - ・分科会の目的について ・名刺協賛について
 - ・各支部例会 キャラバン協力をお願い
 - ・各支部動員目標について

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
委員会提示	45	45	40	35	25	100	20	10	320
支部協議後	45	45	40	35	25	102	20	8	320

- 3)来期の会員名簿作成スケジュールの変更について－山口専務理事
(今回提案内容)6/1現在在籍の会員を掲載し、7月末頃に発行。
(全研対応のため)→承認
(現在)2月から準備を開始し、4/1現在在籍の会員を掲載し、5月末頃に発行。

- 4)リーフレット活用法の再検討について－浦郷情報広報委員長
(今回提案内容)内規の修正を含め、各支部に検討を依頼。来月理事会にて共有する。→承認

(内規21)例会時、同友会のリーフレットを各会員に1部お渡しする。受け取った会員は必ずどなたかの経営者にリーフレットをお渡しし、例会に誘う(2016年6月理事会確認事項)

- 5)同友会事務局での純心大学生インターンシップ受け入れについて－山田事務局長

- 6)吉田藍子局員 試用期間終了承認の件－山口専務理事
→承認

報告・連絡事項

- 1)6月 県本部・支部・委員会等の活動状況について
《委員会等》

財務	・入会申込書に写真がない件が今回も2、3件見受けられるので、対応の徹底をお願いします。 (理事会当日の提案と討論) ・先日の県央3支部合同例会のようにゲストが多い場合に同じ配分でグループ割りをしてしまうとグループディスカッションに支障をきたすので、ゲストはゲストだけのグループを作り、そこに仲間づくりの会員が加わり、会への入会を含めたディスカッションへ持っていったらどうか。会員は会員だけでグループを作り、通常の例会を行ってはどうか。 ・ゲストの方から不満の声がありました。グループ長の力量によって議論の深まりに差があったということのようです。ゲストだけのグループを作る際には、同友会はグループディスカッションがあるから議論が深まるという流れを大切にしないといけないので、そのグループのグループ長はそういったことがしっかり分かっている方でないと難しいのではないかと感じています。また、これから役員研修会も含めて全研に向けてのグループ長をどうやって作っていくかということについてはもっと真剣にやらないとこちらが恥をかくことになります。せっかく来られた方に「こんなものか」と言われたことがショックだったので、財務委員長が言われたことも含めて総合的に考えていく必要があると思います。 ・原則はこれまで通りということによいと思います。通常はゲストが5、6名なので、各グループ長で対応できますので、ゲストが非常に多い時の対応と考えては。 ・ゲストについて、入会対象者かどうかを考えた方がいいかと思います。実際に入会を希望している経営者の方はグループディスカッションを経験していただいた方が入会につながるのではないと思うので、役員会や例会委員会でご検討いただきたいと思います。 (総じて)→支部役員会、例会委員会で検討をお願いします。
例会	・県央3支部合同例会において、ディスカッションのスムーズな進行を目的に例会開始前にグループ長研修を行いました。

	た。各支部での例会はもちろん、フォーラムや全研に向けてもグループ長のスキルアップやスムーズなディスカッション進行のためには必要不可欠な要素だと思います。県委員会としても一つのガイドラインの制定に向けて今後取り組みでまいります。
経営労働	・経営者塾と経営労働委員会の方針について、各支部役員会に伺って説明をさせていただきたいと考えており、ぜひご検討願います。
政策	・先日の3支部合同例会に出席。同じグループにゲストが2名いたが、なかなか意見が出ないということがあります。グループ長の力量もさることながら、ディスカッションテーマの重要性を強く感じた。設定したディスカッションテーマで議論が深堀りできるかどうか、慎重に検討する必要がある。また、ディスカッション中に会員が一斉にゲストに入会するように言い始め、ディスカッションが止まってしまった。入会につなげるためということは分かるが、行き過ぎてもダメと感じた。 ・6月5日の中同協中小企業憲章・条例推進月間キックオフ会議の報告を見ていただきたい。地域づくりも企業づくりも「不離一体」なので、条例制定運動を自分の企業づくりと同様に行っていただきたい。

- 2)例会についてー本多例会委員長(本多委員長欠席のため、田口事務局主任)
本多委員長からのメッセージを代読
(各支部へのヒアリングは北松浦支部へのみ)
・北松浦支部ー数名が他の行事と重なり出席できなかったということですが、今後は例会の日程の変更ができれば、出席者を増やすこともできると思うのでご検討いただきたい。
- (松尾全研実行委員長より佐世保支部の反省)
・波佐見の会員が出席しやすいようにということで波佐見で開催していただいたが、会場のキャパの都合で出席者数が38名であったことに愕然とした。他支部ではこのようなことがないようにと思い、報告させていただく。
- (金井代表理事より)
・例会確認表で報告者が決まっているにも関わらず、報告要旨が記載されていないことは報告者に対して失礼であるし、どんなことをするという要旨をしっかりと入れていけば例会参加にもつながると思うので、大変とは思いますがお願いしたい。
- 3)第49回中小企業問題全国研究集会についてー松尾実行委員長(7月2日・第8回実行委員会開催、7月6日中同協幹事会に予算案提案)(第8回実行委員会の報告)
・キャラバン用に簡易チラシを作って配布することを考えている。
・勝本広報部会長より、SNSやホームページを活用していくという話あり。
・LINE @については、広報部会、事務局より行う。

- ・Facebookについては、実行委員会・各部会での決定事項や活動報告等を、各部会担当者を決めていただき、部会長が承認した後に、各部会担当者または広報部会で投稿。
- ・SNSの投稿スケジュール
LINE @については、広報部会、事務局で行う。
Facebookについては随時各部会、広報部会で投稿

4)中同協 主要行事の参加状況

6月21・22日(木・金)	第21回 女性経営者全国交流会／埼玉 ／10名(目標5名)
7月5・6日(木・金)	第50回 定時総会／宮城／15名(目標30名)
8月24日(金)	組織強化・会員増強全国交流会／東京 《佐世保支部 原田さん・野田さん 報告》
9月13・14日(木・金)	人を生かす経営全国交流会／宮崎 ／12名(目標30名)
9月20・21日(木・金)	第32回 役員研修会／徳島
11月29・30日(木・金)	第46回 青年経営者全国交流会／沖縄
2月21・22日(木・金)	第49回 中小企業問題全国研究集会／長崎
7月18～20日(水～金)	※全国事務局員研修会／広島
12月7・8日(金・土)	※九州沖縄ブロック事務局研修交流会／長崎

- 5)第20回 青年部連絡会(静岡) 参加報告ー山口専務理事
・今度の定時総会後の中同協幹事会で提案される予定の青年部連絡会の九州沖縄ブロック担当副代表として選任された。
- 6)第21回 女性経営者全国交流会(埼玉) 参加報告ー吉澤・松尾・田口(敬称略)
※詳細については広報誌を参照願います
(吉澤支部長)隣接異業種という考え方に気づきを得たのでさっそく会社に持ち帰ってやろうと思う。シブサワスピリットのタオルをいただいたが、こういったものを長崎全研でも配れたら良いなと思ったので、できるできないかは別として報告する。
- (松尾全研実行委員長)立教大学の山口名誉教授の話を実践して業績を伸ばしている方が多くいることをつくづく感じた。経営者は「聞くこと」ができなくなった時に経営をやめるべきという話は感じるものがあつた。
- (田口事務局主任)同友会で実践をしている「労使見解」は渋沢栄一さんでも未達の部分であり、民間の力が国力をあげていくものになるというものだった。参加させていただき大変感謝している。
- 7)3ヶ月会費滞納者についてーなし

※次回予定確認 8月2日(木) 長崎ロイヤルチェスターホテル

会員動向

●企業住所等変更

前田 富彌 会員 (長崎浦上支部) 新住所：〒852-8036 長崎市青山町20-7 新TEL 番号：095-845-5527 新FAX番号：095-801-7676	石松 稔朗 会員 (島原支部) 新住所：〒855-0041 島原市宮の町703-5 新TEL 番号：0957-61-1310 新FAX番号：0957-61-1320	永吉 秀行 会員 (佐世保支部) 新会社名：(株)戦略営業コンサルティング 新住所：〒858-0921 佐世保市長坂町713-11 新TEL 番号：0956-28-4334 新FAX番号：0956-28-4334	山下 輝昭 会員 (佐世保支部) 新会社名：朝日I&Rワークス(株) 新住所：〒849-4153 佐賀県西松浦郡有田町立部甲241-1 新TEL 番号：0954-27-7063 新FAX番号：0954-27-7064
---	--	---	---

会 員 数 (7月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	150	130	125	100	100	200	55	45	(1000)
期首	113	105	87	79	66	160	43	31	684
現在	111	103	90	80	68	168	44	31	695

退会者 (敬称略)

会 員 名	会 社 名	支部名	入会年月
田 中 健 一	メットライフ生命保険(株)	長崎出島	2017年 2月
酒 見 英 雄	(元 小浜ガス(株))	諫 早	1994年 5月
三 浦 心 太	(福)とみえ会ほっとホーム富希	五 島	2013年10月

8月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 8月21日(火)
会 場 長崎新聞文化ホール・アストピア
テ - マ 売上を伸ばす人材育成とは
報 告 者 (一財)輝麗塾 代表理事
中橋 佐知子 氏

Woman ドリームブランプレゼンテーション創始者中橋佐知子氏をお招きして、「売上を伸ばす人材育成とは」をテーマにお話していただきます。中橋佐知子氏は起業を目指す人へのコンサルティングを幅広く実施。また企業や各種施設及び学校における人材育成、能力開発に関する教育、企業研修など幅広くご活躍されています。売上を伸ばすためには、人材育成の必要性が叫ばれています。社員のやる気を起こさせる方法、社員教育はどのようにやっていけばいいかなどご報告していただきます。起業を目指している方、人材育成にお悩みの方はぜひご参加ください。

●長崎出島支部

日 時 8月22日(水) 18:00～19:00
会 場 サンプリエール
テ - マ 未定
報 告 者 パーソナルトレーニングジム タトラボ
統括トレーナー 中川 恭兵 会員

●大村支部

日 時 8月18日(土) 18:30～21:30
会 場 おおむら夢ファーム シュシュ
内 容 1年でいちばん楽しい家族交流納涼例会

会員ご家族の皆様へ感謝の気持ちをこめて、また会員相互の親睦を深める事を目的とし、納涼例会を開催いたします。

●諫早支部

日 時 8月22日(水) 18:30～21:00
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ - マ 『人を生かす経営』の集大成
～共同求人委員会の真の目的とは～
報 告 者 ブライアント(株) 代表取締役社長
橋口 久 会員 (佐世保支部)

1) 『共同求人委員会ってなんばすって?』
多くの会員さんがおっしゃった言葉です。そこに、委員会に対する興味はありませんでした。私もそうでした。橋口さんのお話を聞くまでは…ついに!今年度から、長崎同友会にも『共同求人委員会』が設立されました。共同求人委員会の目的とは?人を生かす経営の集大成?そんな疑問について県共同求人委員長(株)ブライアント 橋口さんよりお話ししていただきます!

2) 今年度から長崎同友会にも『共同求人委員会』が発足されました。実は、全国的に見れば、非常に遅い発足です。この委員会『最大の目的は、共同求人にあらず!』ということでしょうか?そして、中同協でも“同友会活動の集大成”との位置づけです。求職者から選ばれる企業づくりのヒントがどうやらここにはありそうです。県共同求人委員長(株)ブライアント 橋口さんにお越しいただき、その目的について熱く語っていただきます!

●島原支部

日 時 8月24日(金) 19:00～21:15
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ - マ 同友会を知る会
報 告 者 (資)南陽商会 専務
三田 茂樹 氏
(有)シキシマ 代表取締役
敷島 広太 氏
同友会事務局

今月は「同友会を知る会」を開催致します。同友会に入会したものの、実は同友会のことがよくわからない、そういった会員さんがいらっしゃいます。そんな会員さんに同友会の歴史、同友会の理念、そして1つの特徴であります経営指針書についての体験談等を聞いていただき、理解を深めていただきます。また会歴の長い会員さんも改めて同友会の事を知るいい機会になるかと思っておりますので、ぜひ皆さん奮ってご参加ください!そしてゲストの方もお待ちしております!

●佐世保支部

日 時 8月10日(金) 17:30～21:40
会 場 九十九島ベイサイドホテル&リゾートFLAGS
テ - マ 社会福祉法人の挑戦!
～同友会での学びの実践～
高校中退、元和食板前の挑戦!
～社会福祉法人の経営実践報告～
報 告 者 社会福祉法人宮共生会 理事長
原田 良太 会員

8月例会では、前佐世保支部長だった原田さんの報告のもと【同友会を知る会】を開催いたします。

●北松浦支部

日 時 8月25日(土) 18:30～
会 場 サンパーク吉井
内 容 懇親例会

会員の交流を深めるための懇親例会です。

●五島支部

日 時 8月17日(金)
会 場 ワイワイタウン 牛豚馬鶏
内 容 納涼例会

今年も暑い!!皆様身体は鈍っていませんか?運動不足を感じませんか?五島支部8月度例会は恒例の納涼例会です。ボーリングで汗を流し、アルコールと美味しいお肉で心身ともにリフレッシュ!運動する姿をなかなか窺うことの少ない同友会活動…あの人の意外な姿が垣間見れるかも…優勝候補は五島支部森相談役です。多数のご参加お待ちしております。

●青年経営者会

日 時 未定
会 場 未定
内 容 サマーイベント

長崎全研

2日目の講演者が
決定しました!

「平和に関する講話」長崎市長 田上 富久 氏

「記念講演」(株)V・ファーレン長崎

代表取締役社長 高田 明 氏

(講演順に掲載)

2019年は長崎にて中小企業問題全国研究集会在開催されます!!

2019年2月21・22日開催まで

あと **224** 日!!

※7月12日現在